

心からのご寄付を ありがとうございました

12月21日～1月18日まで

岩手県骨髄バンク推進協議会	現金	10,000
大西 亮	現金	5,000
宮脇実也	現金	1,000
篠永孝範	現金	3,000
大西弘子	現金	3,000
和田俊美	切手	2,124
杉浦共樹	現金	10,000
竹内公昭	現金	5,000
横山一行	現金	5,000
住 正文	現金	1,000
宮武英丸	現金	10,000
村山とき子	現金	50,000
後藤マサ子	現金	10,000
清水陸子	現金	1,000
江戸川子ども劇場	現金	10,000
佐藤・林法律事務所	現金	10,000
秦 康子	現金	5,083
新城照美	現金	15,000
太田見直美	現金	10,000
谷口信一郎	現金	1,000
永井武司	現金	1,000
佐藤実希子	現金	10,000
岡本和美	現金	10,000
浜辺勝美	現金	10,000
坂本照明	現金	3,000
於保 進	現金	5,000
阿原一良	現金	10,000
サントフローリアンピアノリオ		
チャリティーコンサート (各地より)	現金	602,454

(順不同 敬称略)

活動資金の援助をお願いします

銀行口座
さくら銀行 新宿支店
普通 5666655
郵便振替口座
東京 5-15754
全国骨髄バンク推進連絡協議会

100万人署名取り組み進む

全国のボランティア団体が今、「骨髄移植医療体制の拡充と整備を求める請願」署名運動に精力的に取り組んでいます。

署名に協力を申し出た団体も多数あります。そんな様々な署名運動の報告が届いています。

50万人の署名を協力

日本で最大の組合員数を擁する労働組合である自治労(全日本自治労連)が、全国協議会の百万人署名運動に全面的に協力してくれることになりました。

数分の署名を集めてくれることになり、既に署名用紙等を自治労本部に渡しました。署名は自治労加盟各地組合から各地ボランティア団体に直接送り返されることになっています。

署名を通じて大きな運動の広がり

千葉連結会では四万人の署名獲得を目標に運動に取り組んでいます。衆参両院あてに加え、千葉県議会議長あての三本立ての取り組みです。

署名獲得は街頭署名三回に加え、あらゆる機会や組織への働きかけを考えていますが、会員は一人目

標百枚(千名)というところで、一丸となって頑張っています。今回の署名運動は単に県民への署名をお願いするだけでなく、人の輪づくりを通じて広く骨髄バンクを知って頂くことをモットーに、明るい活動を進めたいと思っています。

10万人めざして活動スタート

新潟

新潟では、十二月十日古町八番町の若手おかみさん会の協力を得た街頭署名を皮切りに署名活動に入った。以後、寒空での街頭署名一回、店頭署名八回を実施した。感想として、骨髄バンクはまだ一般に知られていないのを実感した。大声で呼びかけても百人のうち二人位しか署名をしてくれない。ちなみに店頭署名二時間を八日間て千六百人の人が署名をしてくれた。今回の署名目標を新潟県は十万人と定めた。根拠は四年前「骨髄バンクの早期実現」で七、七、七の署名が集まったことによる。現在は組織も大きくなり、骨髄バンクの社会的認知も得られたと思えば、十万人の目標を決めたが、動いてみてその大変さを実感している。しかし、全会員が目的に向かって、三月一杯まで頑



張る事を意識確認し、現在進行中である。現在又は今後お願いする所として記してみたい。市町村、病院、連合他の組合関係ライオンズ、ロータリー、学校自衛隊、企業、団体、その他

各地のたより

福島

200名の参加で
会津シンポ

十一月二十日、会津若松ワシントンホテルにて、約二百名の参加者を集め骨髄バンクシンポジウムが行われました。

第一部は、大谷貴子さんを中心に、移植経験者の佐藤貴子さん、非血縁者へのドナー経験者である五十嵐多喜子さんらによるディスカッション。さらに五十嵐さんのお母さんも飛び入りで発言し、娘さんがいよいよ提供する直前になって不安に駆られ、名古屋まで行った時の話に、皆うなずきながら聞き入っていました。

第二部は、大石邦子さんと大谷貴子さんの対談。大石さんが初めて大谷さんにあつた時の印象から始まり、ご自分の闘病中のこと、医療や骨髄バンクに寄せる思い等



各地のたより 写真を添えて お寄せ下さい。

を話して下さいました。

及び看護協会の各団体にもポスターと参加依頼の文書を送付し計画しました。当日は満員の参加者があり成功裡に開催することができました。又、百万人署名では、連合三重に依頼したところ、快く引き受けていただき、取り組んでいただいています。

三重 医療スタッフの 協力を得てシンポ

三重県では、骨髄バンク推進月間事業として

①骨髄バンクパネル展
②四日市、津市で成分献血推進と併せて骨髄バンクへの登録の呼びかけ
③骨髄バンクシンポジウムの開催

特に今回のシンポジウムは、医療スタッフの方々の参加をお願いすべく伊勢市の山田赤十字病院講堂をお借りし、医師会、病院協会



翔べ！白血病の息子よ

橋本明子著
息子の発病を機にバンク運動を始めた。しかしバンク設立と入れ替わるように息子は逝ってしまつた。闘病と運動の息詰まる日々を「月刊Asahi」連載の同時進行ドキュメントより
46判 一四四頁、一七〇〇円

海鳴社

東京都千代田区西神田2-4-5
(03) 3234-3643 (Fax共通)

頭痛のタネ、肩の重荷、首がまわらない、不景気な顔、足の引っぱりあい、勇み足、骨肉の争い、明日胃カメラ、プレッシャー、取り越し苦労、空まわり、板バサミ、ムカムカ、イライラ、モヤモヤ、ムシヤクシャ、ギクシャク、セクハラ、未練タラタラ、内気、エッチ、良心の呵責、永すぎた春、単身赴任、親子の断絶、理由なき反抗、五里霧中、四面楚歌、諸行無常、煩惱、出来心、退屈、理想と現実のギャップ、失意のどん底、お先まっ暗、不吉な予感、気のせい、ツキがない、楽しくないでお悩みの方に、フジテレビ。



あなたと創る Creating Together 三菱自動車

シートベルトをしめて、スピードをひかえめに。安全運転は三菱の願いです。

ひとりひとりに優しさを、FUSOの技術。

その荷物を心待ちにしている人がいます。
その笑顔に早く会いたいと思う人がいます。
たくさんの暮らしを支えて走る三菱FUSOのトラック・バス。
より安全・快適に、地球の未来やドライバーのことを考えて、
ヒューマンな技術を開発し、新時代のニーズに応えています。
あなたのそばにも、FUSOの創造力と総合力。



創造力と総合力。トラック・バスは三菱ふそう。

MITSUBISHI FUSO